

○千葉市保健所長（保健福祉局保健医療統括監）からのメッセージ

～社会の健康増進に携わってみませんか？～

このホームページをご覧になっている方は、公衆衛生（行政）の仕事に興味を持っている先生方だろうと思います。

WHOの「健康」の定義をご存知でしょうか。健康とは、単に疾病に罹患していないだけでなく、身体的、精神的、社会的に健全であることとされています。よく、臨床医と公衆衛生（行政）医師という分け方がされますが、臨床も公衆衛生（行政）もヒトの健康を維持することを目的としていて、そのアプローチ方法が違うだけです。



行政にいる医師は、社会全体の健康を維持するために、幅広く様々な対策に取り組むことになります。健康増進、母子保健、感染症対策、医務薬務、環境衛生、食品衛生等々、保健医療福祉の多岐にわたる分野に携わり、制度の企画、立案、実施、進行管理などを行って、「行政」という手法を活用し、市民の健康の維持に貢献することになります。

もちろん、結核や感染症の患者さんからの相談や市民からの健康相談、地域住民の集会での講演など、直接、患者さんや市民に対応することもあり、自分のかかわった政策の手ごたえを感じることもできます。

千葉市の場合、千葉市外への転勤はありません。充実したワーク・ライフ・バランスの実現も可能です。また、災害時や新興再興感染症の流行などの緊急時以外は、休日出勤や夜勤、当直勤務はありませんが、一方で、そのような場合には最前線に立って医療対策や感染対策を行うこととなり、医師としてのやりがいを感じることができます。

医師としての専門職の立場から、医学的知識と臨床経験を活かして、千葉市で一緒に働いてみませんか？ぜひ、ご連絡ください。

○千葉市保健所次長からのメッセージ

こんにちは。千葉市の公衆衛生医師の椎名と申します。

大学卒業後、20年余りにわたり大学で研究と教育に携わってきました。家庭の事情から大学を離れることとなり、公衆衛生医師として千葉市に入職して5年が経過しました。

これまで市内の医療機関に係る事務処理や立入検査、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとした感染症対策のほか、災害時の保健・医療体制の整備や実際の災害対応にも携わってきました。

公衆衛生は、個々の患者に焦点を当てる臨床医学とは異なり、個人ではなく、疾病の予防や健康増進に焦点を当て、感染症対策、予防接種、健康教育などを通じて集団全体の健康を促進することを目指します。その中で、公衆衛生医師は、医師とはいえ、行政組織の一員として業務を行います。つまり、「法律による行政の原理」に基づき、常に法律を意識しながら業務を行うこととなります。これにより、保健・医療の世界がこれまでとは違って見えるようになります。ものの見方が変わることは、仕事を通じて達成された一種の自己変革であり、充実感ややりがいに繋がるものだと思います。

ご興味を持たれた先生は、ぜひ一度見学に来て下さい。お待ちしております。